

# 上越市地域公共交通活性化協議会

平成20年7月25日設置  
平成21年3月24日連携計画策定



## 概要

「持続可能なまちを育み支える公共交通」を目指して!!

- 公共交通ネットワークの階層化を行い、地域間輸送を担う「幹線バス」と地域内輸送を担う「支線バス」へと再編を行います。
- 利用需要に見合った運行本数の最適化とデマンド型(予約制)バスを導入し、運行の効率化を図ります。
- 運行ルートの見直しにより、交通空白地域や利用需要の多い地域へ対応します。また、運行ダイヤを見直しを行い、電車との接続を強化します。
- 地区中心部のコミュニティ施設等を公共交通拠点「さとの駅」として活用し、地域の賑わいを創出します。

## ○安塚区幹線バス・デマンドバス実証運行

【公共交通ネットワークの階層化(幹線バス・支線バスの設定)】

- ・利用需要が多い「うらがわら駅～区中心部」間を「幹線バス」として運行し、「区中心部～各集落」間を「支線バス」として運行します。

【利用需要に見合った「運行本数の最適化」、「デマンド型(予約制)バスの導入】】

- ・利用需要に見合った運行本数の最適化を行います。また、利用が少ない日中の時間帯をデマンド型(予約制)バスを運行します。

【公共交通空白地域の「小黒川西岸部」に対応する運行ルートを新設】

- ・既存の朴ノ木線の運行ルートを一部変更し、小黒川西岸部に対応するルートを新設。

【公共交通拠点「さとの駅」の設定、整備】

- ・区中心部の安塚を公共交通拠点とし、コミュニティ施設を活用した「さとの駅」を整備する。

## ○吉川区幹線バス・デマンドバス／循環バス見直し実証運行

【公共交通ネットワークの階層化(幹線バス・支線バスの設定)】

- ・利用需要が多い「うらがわら駅～区中心部」間を「幹線バス」として運行し、「区中心部～各集落」間を「支線バス」として運行します。

【利用需要に見合った「運行本数の最適化」、「デマンド型(予約制)バスの導入】】

- ・利用需要に見合った運行本数の最適化を行います。また、利用が少ない日中の時間帯をデマンド型(予約制)バスを運行します。

【吉川西部循環線・鶴の浜線の運行ルート、運行ダイヤの見直し】

- ・駅との連絡を強化するため、利用の少ない潟町駅への接続を上下浜駅へ見直します。

【公共交通拠点「さとの駅」の設定、整備】

- ・区中心部の原之町を公共交通拠点とし、コミュニティ施設を活用した「さとの駅」を整備する。

## ○頸城区地域巡回バス見直し実証運行

【公共交通ネットワークの階層化(幹線バス・支線バスの設定)】

- ・南川線は頸城区と合併前の上越市を結ぶ重要な路線として「幹線バス」として運行し、区内を運行している4つの巡回バスは「支線バス」として運行します。

【既存交通資源との棲み分けを行うため、運行ルート、運行ダイヤの見直し】

- ・路線バス、巡回バス、スクールバスの重複があり、非効率な運行を解消するため、運行ルート、運行ダイヤを見直します。また、鉄道駅との接続に対応した運行ダイヤへ変更します。

【路線バスとスクールバスの運行が重複している区間の見直し】

- ・路線バスとスクールバスの運行が重複している区間については、路線バス対応を基本とし、スクールバスの運行を見直します。(本年度検討)

【公共交通拠点「さとの駅」の設定、整備】

- ・区中心部の百間町を公共交通拠点とし、海洋センターを活用した「さとの駅」を整備する。

